

精神障害者の就労支援



【池袋キャンパス】臨床心理学研究科 教授

管 心 Suga Motomu

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : 精神疾患・就労・定着支援



研究の概要

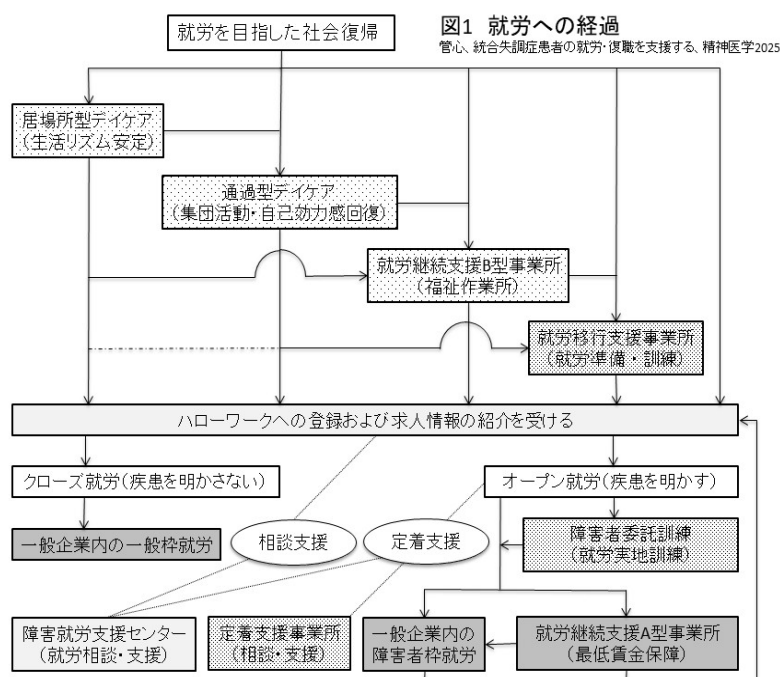
SDGs 目標 3 : すべての人に健康と福祉を

SDGs 目標 10 : 人や国の不平等をなくそう

日本の精神障害者への医療は、精神科病院を中心に社会から隔離して収容するという社会防衛の色彩が強かった。しかし、国際条約である障害者権利条約への批准や障害者雇用促進法などの国内法の整備により、社会参加支援が拡充しつつある。精神・知的・身体の三障害の中では精神障害は最も後れを取っていたが、精神障害者の雇用義務化を契機に就労件数が伸びつつある。福祉の観点では、特に地域活動での生活の場でもある雇用へつなぐための就労移行支援やハローワークでの職業紹介などの就労支援が充実しつつある。

一方、一度就労しても、短期で離職する障害者が多いため定着支援の重要性が課題となっており、また有病率が高く就労後の中途発症も多い気分障害患者と比較して、就労前の若年期に発症することが多い統合失調症患者や、児童期から特性を持ち続ける発達障害者に対する理解や受け入れは不十分であることが現実である。

精神障害を持ちながら就労している患者や、支援機関、雇用主（企業）へのインタビューをおこなうことで、就労定着支援に有効な要因を抽出したい。



実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

国際的にも国内的にも多様性を認める社会が求められている。その中で従来から様々な偏見・バイアスに晒され、社会の中で活躍する場が限られてきた精神障害患者も、医療の援助や合理的な配慮や支援を受けながら、就労することが増加してきた。一方で、知・情・意（認知・感情・意欲）の様々な面において特性・特徴を持つため、適切な理解と支援が求められる。具体的で効果的な支援や障害特性理解の仕組みを検討することで、精神障害患者の社会での活躍につながる。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

【論文】「統合失調症を持つ当事者へ就労準備支援から定着支援までの一貫した支援を提供する」

【所属学会】・日本精神神経学会

・日本統合失調症学会